

<h1>福祉心理学特別研究</h1>	担当教員	単位数	配当学年
	小林 万洋	6単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR	

## ■事前に受講してほしい講義等

心理学的な理論と支援（司法・犯罪心理学）・心理学的な支援と応用演習（司法・犯罪心理学）

## ■授業のテーマ

福祉心理学研究の基礎と実践

## ■授業の目的

福祉心理学のうち、特に司法・犯罪心理学やその関連領域における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を使って研究し、論文を作成します。

## ■授業の到達目標

- ・司法・犯罪心理学の視点から研究課題を見つけることができる
- ・研究目的に沿った研究方法を選び、計画を立てることができる
- ・研究目的に沿った量的あるいは質的データを収集することができる
- ・収集したデータを分析し、考察し、論文としてまとめることができる
- ・実際の心理学的支援に応用可能な知見を研究を通じて得ることができる

## ■授業の概要

司法・犯罪心理学やその関係領域における研究テーマについて指導を行います。テーマの選定、目的、方法、結果の分析、考察については、その都度、ディスカッションし、教員のアドバイスを受けながら進め、「他者に伝達可能な意味ある知」としての論文を作成します。

## ■授業の方法

個別指導

## ■授業時間外学修（予習・復習等）

先行研究を十分読み込み、問い（リサーチクエスチョン）を明確にする作業を行います。この段階でよい問いが見つかりと自ずから答への道筋が明らかになる大切な作業です。その問いを解明するための最適な調査方法を検討し、データ収集をし、その結果を分析し、考察を行い、論文を完成させます。

なお、公益性のある研究を目指すとともに、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく研究倫理を踏まえて研究を進めることが肝要です。

## ■評価の方法・基準（評価割合）

本研究への取組（20%）、3回のレジュメ（20%）、論文内容（40%）、最終プレゼンテーション（20%）

## ■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ（構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ）提出が必須。

## ■論文作成のポイント（テーマと内容等）

	ポイント
1	テーマ：オリエンテーション、研究テーマをめぐる検討 内容：授業計画を説明するとともに、研究テーマを検討します。
2	テーマ：先行研究、文献の収集 内容：収集した研究や文献はその都度カードなどにまとめ、問いを明確にする検討作業を行います。
3	テーマ：先行研究、文献の収集 内容：収集した研究や文献はその都度カードなどにまとめ、問いを明確にする検討作業を行います。
4	テーマ：先行研究、文献の収集 内容：収集した研究や文献はその都度カードなどにまとめ、問いを明確にする検討作業を行います。
5	テーマ：先行研究、文献の収集 内容：収集した研究や文献はその都度カードなどにまとめ、問いを明確にする検討作業を行います。
6	テーマ：問い（リサーチクエスション）の明確化 内容：先行研究等を踏まえ、自らの問い（リサーチクエスション）を明確化する作業を行います。
7	テーマ：研究計画の検討 内容：問いを解明するために適切な調査方法と分析方法について、研究倫理を踏まえて検討します。
8	テーマ：研究計画の作成 内容：研究計画の検討結果を踏まえながら、文書として研究計画案を作成します。
9	テーマ：研究計画の作成 内容：研究計画の検討結果を踏まえながら、文書として研究計画案を作成します。
10	テーマ：予備調査の検討 内容：本調査に向けて予備調査の実施の必要性を検討します。
11	テーマ：予備調査の実施 内容：研究計画に沿って予備調査を実施します。
12	テーマ：予備調査の結果の検討 内容：予備調査結果の結果を分析します。
13	テーマ：予備調査結果を踏まえた本調査の検討 内容：予備調査の結果分析を踏まえて本調査のデザインを検討します。
14	テーマ：予備調査結果を踏まえた本調査の検討 内容：予備調査の結果分析を踏まえて本調査のデザインを引き続き検討します。
15	テーマ：本調査の実施計画作成 内容：予備調査の結果分析を踏まえて本調査のデザインを引き続き検討し、実施計画を作成します。
16	テーマ：本調査の実施 内容：研究協力者の協力を得て、本調査を実施します。
17	テーマ：本調査の実施 内容：研究協力者の協力を得て、本調査を実施します。
18	テーマ：本調査の実施 内容：研究協力者の協力を得て、本調査を実施します。
19	テーマ：データの整理と分析 内容：本調査で得られたデータを分析方法にしたがって整理します。
20	テーマ：データの整理と分析 内容：本調査で得られたデータを分析方法にしたがって整理します。
21	テーマ：データの整理と分析 内容：本調査で得られたデータを分析方法にしたがって整理します。
22	テーマ：データの整理と分析 内容：本調査で得られたデータを分析方法にしたがって整理します。
23	テーマ：結果のとりまとめ 内容：分析内容を結果としてとりまとめ、併せて考察も進めます。

	ポイント
24	テーマ：結果のとりまとめ 内容：分析内容を結果としてとりまとめ、併せて考察も進めます。
25	テーマ：結果のとりまとめ 内容：分析内容を結果としてとりまとめ、併せて考察も進めます。
26	テーマ：修論の作成 内容：これまで研究として取り組んできた内容を論文としてまとめます。
27	テーマ：修論の作成 内容：これまで研究として取り組んできた内容を論文としてまとめます。
28	テーマ：修論の作成 内容：これまで研究として取り組んできた内容を論文としてまとめます。
29	テーマ：修論の作成 内容：これまで研究として取り組んできた内容を論文としてまとめます。
30	テーマ：修論の作成 内容：これまで研究として取り組んできた内容を論文としてまとめます。

#### ■教科書・テキスト

教科書・テキストは使用しません。

#### ■参考書・参考資料・参考 URL 等

研究目的、研究方法に沿って、参考となる論文、文献などを適宜紹介します。